

昨今、SNSを含むインターネットは様々な分野に浸透し、青少年にとって身近で生活に欠かせないツールとなっている。一方で、一部ではインターネットを通じた犯罪被害の発生や、長時間利用等により意図せず生活習慣が崩れてしまう等の課題も指摘されている。今後、青少年を取り巻く社会全体のデジタル化が更に進展することが予想される中で、**青少年がインターネット等を適切に活用できるようにする取組**を推進する。

また、**アルコール、薬物、ギャンブル等に関する依存症等**について、青少年の健全育成を図る観点から、**適切な理解に資する取組や、予防教育**の実施を推進する。
【委託事業、平成16年度事業開始】

ネットモラルキャラバン隊

- 全国各地で保護者等を対象に、生成AI等の新たな技術や偽・誤情報への対応等を含めたネットとの関わり方、家庭でのルール作り等の観点から、青少年がインターネットを適切に利用するためのシンポジウムを広報キャンペーンとセットで開催。
- 全国フォーラムとして、有識者によるトークセッションやパネルディスカッション、インフルエンサー等の活用による広報キャンペーンを実施し、各地域における成果の全国的な展開を図る。

- (1) 積算：①フォーラム開催 1百万円
②シンポジウム 4百万円 × 1団体
(2) 委託先：民間等



青少年教育施設を活用した生活習慣等改善推進事業

- インターネットの長時間利用等の要因で生活習慣が崩れている青少年を対象に、青少年教育施設を活用した自然体験や宿泊体験プログラムを実施。また、その保護者へも、家庭での関わり方等について知見を得るためのプログラムを実施。
- プログラム参加者の追跡調査等により成果を検証するとともに、プログラムの普及を図るために効果的な広報を実施。

- (1) 積算：3百万円 × 3団体
(2) 委託先：民間、地方公共団体等



青少年ネット・インタラクティブ・フォーラム

- 青少年が主体となり、青少年が日頃どのようにSNSを含むインターネットや生成AI等を活用しているかを踏まえ、ネットとの関わり方や今後の社会の在り方等について、様々な世代とコミュニケーションを図る対話型のフォーラム・ワークショップを開催。

- (1) 積算：2百万円 × 1団体
(2) 委託先：地方公共団体、学校法人等



依存症予防教育推進事業

- 各地域において、アルコール、薬物、ギャンブル等への依存症等を予防するための啓発講座「依存症予防教室」を開催。
- 全国的な啓発として「依存症の理解を深めるための普及啓発シンポジウム」を開催。

- (1) 積算：①シンポジウム 1百万円
②依存症予防教室 2百万円 × 2団体
(2) 委託先：民間、地方公共団体

